

# 令和4年度事業報告

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

はじめに

令和2年1月に国内で始まった新型コロナウイルス感染症は、令和4年度に入って新たな変異株が第7波・第8波と発生し、新規感染者数はこれまでの最高となり、感染拡大の防止が私たちの「普通の日常」になってしまいました。

当センターでも、コロナ防止対策として、かほく市や石川県シルバー人材センター連合会(以下「県連合会」)からの通達により、事業計画の中止や延期、会員の就業中止、書面議決やリモート会議など、対応を行いました。

さて、令和4年度は平成28年に策定した第1次の中長期計画を踏まえ、感染症の拡大防止のため計画は1年ずらしましたが、第2次中期計画を作成し、基本方針である「会員の増強と就業率の向上、受託事業の拡大」の3つの目標を継続して掲げ、5年後の目標に向かって事業の推進を図ることとしました。

人生100年時代と言われる今日にあって、健康で働けることに喜びと誇りをもって、健康づくりに、ひいては地域貢献にも役立ちたいと願う会員多数の活躍の場として、一層の充実を図っていききたいと願っております。

令和4年度事業の取り組みに際し、会員及び発注者の方々、並びにかほく市をはじめ県連合会から、多大なるご支援を頂きましたことに深く感謝を申し上げます。

以下令和4年度事業実績状況について報告いたします。

## 事業報告

### 1. 会員の入会促進と作業マナー向上

(1) 機関紙及びかほく市広報紙を通じて、入会説明会開催等の周知を図った。

(2) 「一人の会員が一人の仲間を増やす」をモットーに地域活動や個々の会員勧誘活動を進め、マナーを備えた会員を増やし、活力のあるセンターを目指した。

- ・機関紙発行 (1月5日 「シルバーだよりかほく」発行)
- ・マナー講習会 (2月8日 26名参加 講師 畑中奈小美氏)

### 2. 組織活動の活性化

(1) 各種専門委員会の活性化を図るため、就業状況及びシルバー活動についての要望など、意向調査を実施した。

(2) 地域貢献活動などを行い、シルバー事業への積極的な参加を促した。

- ・会員アンケート調査 (1月 272名宛に発送)
- ・ボランティア清掃 (11月10日 25名参加 七塚中央公園)

### 3. 普及啓発活動の推進

- (1) パンフレット・チラシ・ホームページ作成等により周知を図り、受注件数の増加を図った。
- (2) 発注者へのアンケート調査を実施し、新規顧客の獲得や受注件数の増加を図った。
- (3) 当センターで実施する事業について、新聞等へのセンター事業の情報提供等によりセンター活動を周知した。
- (4) 会員と会員家族を交えた交流イベントは感染症拡大防止のため中止した。
- (5) センター独自の広報を充実した。
  - ・普及チラシ<人生 100 年時代・シニアの新しい働き方>を県連合会と共同発行
  - ・お客様満足度アンケート調査（12月に422人(社)へ発送）
  - ・北國新聞の6/10、7/15、12/8、2/9日に事業が掲載された。
  - ・ぶどう狩り体験会（8月 感染拡大防止のため中止）
  - ・会員だよりの発行（毎月中旬）

### 4. 事業拡大と就業機会の拡大、派遣就業の取り組み

- (1) 日常生活上の生活支援が必要と市から判断された市民に対して、「軽度生活支援事業」を、実施したが利用者数は減少した。
- (2) 令和3年度より、「かほく市ふるさと納税」の返礼品に、シルバークリの墓地清掃の受託が決まり、新たな取り組みとして、市・利用者・会員・センターで満足されるサービスが提供できるよう進めたが今年度の依頼はなかった。
- (3) 令和元年度より独自事業として実施している農作物栽培で、栽培・販売事業をすすめて就業機会の拡大を図った。また農作物栽培推進委員会を主体として、ぶどう畑や野菜畑の栽培について協議した。
- (4) 労働者派遣事業を推進し、就業機会の拡大及び適正就業に努めた。
  - ・軽度生活援助事業の実施（1名の利用者に対し就業していたが、5月から利用者が2名になり、2名の会員が就業した。）
  - ・「かほく市ふるさと納税」の返礼品（墓地清掃の実施）
  - ・農作物栽培の実施（延べ40名参加 ぶどう畑 二か所の野菜畑）
  - ・新規派遣就業の実施（二ツ屋地区で遺跡発掘調査業務）  
（南部学童保育クラブ送迎バス運転業務）

### 5. 安全・適正就業の推進

安全・適正就業推進委員を中心として安全講習会及び安全パトロールを強化し、事故撲滅を目指した。

- ・交通安全講習会（2月8日 津幡警察署交通課署員による、啓蒙ビデオ鑑賞）
- ・市内安全パトロール（10月11日かほく市内2か所で実施）
- ・合同パトロール(県連合会と近隣のセンターとの合同を予定していたが感染拡大防止のため中止)
- ・県警支援シルバードライビングスクール実施  
（7月9日・14日 会員24名参加）  
（太陽自動車学校指導員による高齢者対象の運転診断と安全指導）

## 6. 技能・技術講習会への参加

会員や発注者のニーズに対応できる人材育成を目的とした、センターまたは県連合会が主催する講習会に参加し、作業品質や技能・技術の向上を目指した。

- 農作物栽培講習会 (5月16日、6月13日会員26名参加)
- 剪定講習会 (6月8・9日 会員9名参加)
- 草刈り機技能講習会 (6月10日 かほく市会員6名、他5名参加)
- 運転(派遣業務)技能講習会 (11月15日 会員6名参加)

## 7. 会員の福利厚生と健康管理の向上

- (1) 講習会や料理教室等を開催して、会員の健康意識の高揚と会員相互の親睦を図ることに努めた
- (2) 事務所や他の施設などを、会員の方に日を決めて解放し、サークル活動等の支援を行った。

- 健康料理講習会 (12月7日 会員12名参加)
- 卓球愛好会 (R4年4月~R5年3月 毎月2回 4~8名参加)

## 8. 第2次中期計画の策定

令和4年度から、事業運営の指針となる第2次中期計画を策定した。

今後、令和8年度までの5年間について、毎年度終了後に実績評価を行い、必要であれば対策も講じる。

## 9. 事務局体制の充実

全国シルバー人材センター協議会(全シ協)や県連合会などの研修会に積極的に参加して、多様化する地域社会や会員のニーズに的確に対応できるように職員の資質の向上を図った。

- SMS(ショートメッセージサービス)を使って、会員への連絡体制の確立を図った。

以 上